学校の適正規模・適正配置に関するアンケート調査 ご 協 力 の お 願 い (教職員用)

教職員の皆様には,日ごろから本市教育行政に対して格別のご理解・ご協力を賜りまして,厚くお礼申し上げます。

さて、本市では将来を担う子どもたちに、より望ましい教育環境を整えるため、中・長期的な展望に立った「学校再編計画」の策定に平成23年度から取りかかります。

この調査は、市立小・中学校の適正規模・適正配置についての基礎資料とするため、現場の教職員の皆様にご協力をお願いするものです。

この調査は無記名であり、回答は全て統計的に処理し、上記の目的以外に使用することはありません。この調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成23年9月

吉野川市教育委員会事務局

【記入上の注意】

- 1 この調査票は、氏名を記入していただく必要はございません。
- 2 回答は、特に指定がなければ、1問につき一つだけ〇を入れ、又は文字 を記入してください。

「当てはまるもの全てに〇」など指定されている場合がありますので、 お間違えのないようお願いします。

- 3 ご記入いただいた調査票は、元の封筒に入れて10月7日(金)まで に、教育総務課へご提出くださいますようお願いします。
- 4 この調査票(教職員用)以外に、保護者用の調査票が届いた場合は、 この調査票と保護者用をそれぞれご提出ください。
- 5 郵便で調査票(一般市民用)が届いた場合は、一般市民用は提出いただかなくても結構です。
- 6 この調査票についてのお問い合わせは、下記担当までお願いします。

吉野川市教育委員会事務局(平日8:30~17:15) 教育総務課 教育政策係 担当:吉尾(よしお) 電話:42-4113 ファクシミリ:42-5566

■基本項目(回答者自身)

問1 性別

男 女

問2 年齢(平成23年10月1日現在の満年齢でお答えください。)

20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳以上

問3 あなたは、吉野川市内の学校に勤務されて何年ですか。 (合併前の旧町村を含め、過去に勤務された期間も合算してください。)

5年未満 5~10年未満 10~20年未満 20年以上

問4 現在、勤務されているのはどれですか。学校種別に〇を付けてください。

幼稚園 小学校 中学校

■学校施設(校舎・体育館など)について

吉野川市には、現在小学校14校、中学校4校(休校を除く)の市立学校がありますが、その多くが昭和40~50年代に建設された施設です。

旧耐震基準により昭和56年以前に建設された学校施設については、耐震診断を実施し、耐震改修が必要な施設は、平成24年度末までに全て工事を終了する予定です。しかし、新耐震基準により昭和57年以降に建設された施設も含め、老朽化が進むと耐震以外の改修も必要ですし、いずれ建て替えが必要となります。

こうした状況を踏まえて、以下の質問にお答えください。

問5 あなたが勤務されている学校の施設で課題と思われることは何ですか。(当てはまるもの全てにO)

- 1) 電気や水回りなどの設備が老朽化していること。
- 2) さまざまな学習や体験ができる設備や備品などが充実していないこと。
- 3) 子どもたちが快適に過ごせる環境でないこと。
- 4) 災害時に安全な環境でないこと。 (耐震を除く)
- 5) 不審者対策など防犯設備が充実していないこと。
- 6) 特になし。
- 7) その他 (
- 問5-2 問5で課題があるとお答えの方にお尋ねします。これらの課題を解決するためには、改修だけでなく建て替えが必要になってくる場合があります。学校を建て替える場合、その場所については、どうお考えですか。
 - 1) 現在地での建て替えがよい。
 - 2) 移転した方がよい。
 - 3) 特にこだわらない。
 - 4) その他 (

門5-3	上スし	けわげ	その理由をお聞かせください。
IDIJ J	みつし	, I / 1 U l ch .	しい注曲での頃からくたでい。

		J

■適正規模について

平成23年5月1日現在,市内の小学校14校のうち,全ての学年において1学級(クラス)の学校が10校,複式学級が1校あり,市立中学校4校でも学級数が減少傾向にあります。

	小学校		中学校	
国が定めた	1学年当たり		1学年当たり	
標準学級数	2~3学級		4~6学級	
県が定めた	1~3年	4~6年	1年	2~3年
学級編制基準	35人	40人	35人	40人

^{(※}地域の実態を考慮できることになっています。)

こうした状況を踏まえて、以下の質問にお答えください。

問6	あなたは、	小学校における一つの学年での学級数、	1学級当たりの児童数は,
ئع	の程度が望	!ましいと考えますか。	

)

ア 小学校での一つの 1) 1学級 3) 4~5学級程度 学年の学級数 2) 2~3学級程度 4) その他(

イ小学校での1学級1) 15人以下4) 30人程度当たりの児童数2) 20人程度5) 35人程度3) 25人程度6) 40人程度

問7 あなたは、中学校における一つの学年での学級数、1学級当たりの生徒数は、 どの程度が望ましいと考えますか。

ア中学校での一つの1) 1 学級3) 4 ~ 5 学級程度学年の学級数2) 2 ~ 3 学級程度4) その他(

イ 中学校での1学級1) 15人以下4) 30人程度当たりの生徒数2) 20人程度5) 35人程度3) 25人程度6) 40人程度

問8 小・中学校において学級数や学級の人数が減ることの影響について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

- 1) 一人一人が担う部分が多くなるため工夫・協力し合うことを学び、やり甲斐や責任感が生まれることが期待できる。
- 2) 適度な刺激や切磋琢磨する機会が少なくなる恐れや、多様な価値観が育ちにくくなることが不安である。
- 3) 子どもの人数が減ることで、かえって一人一人の個性や特性に応じたきめ細やかで丁寧な指導が期待できる。
- 4) 人間関係が固定化・序列化する恐れや、学級の中で人間関係が破綻した場合、 学級編制による回避ができないことが不安である。
- 5) 学校行事で出場や発表の機会に恵まれることが期待できる。
- 6) 団体競技の種類・内容が制限されることが不安である。
- 7) その他 (

■地域と学校との関わりについて

問9 適正配置を考える際に、地域と学校との関わりについても考慮する必要があります。あなたと学校との関わりについて(又は、一般的に地域社会と学校との関わりについて)、あなたの考えに近いものは次のどれですか。

(当てはまるもの全てに〇)

- 1) スクールガードなど、子どもの見守り活動。
- 2) 体育館やグラウンドを使用する社会体育活動。
- 3) 運動会や文化祭など学校行事への地域の参加。
- 4) 地域の人の学校へのボランティア活動。
- 5) 地域の防災訓練への学校の参加。
- 6) 児童・生徒のボランティア活動。
- 7) 米づくりや野菜づくり、職業体験などの校外活動。
- 8) その他(
- 問10 あなたが勤務されている学校施設に対するあなたの思いは、次のどれですか。 (当てはまるもの全てにO)
 - 1) 思い出が詰まった施設。
 - 2) 地域の中心的な施設。
 - 3) 災害発生時の避難所や選挙時の投票所など教育施設以外の公共施設。
 - 4) 特になし。
 - 5) その他(

■その他

問11 これまでの質問の他、学校の適正規模・適正配置に関してご意見がございましたら、ぜひお聞かせください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。